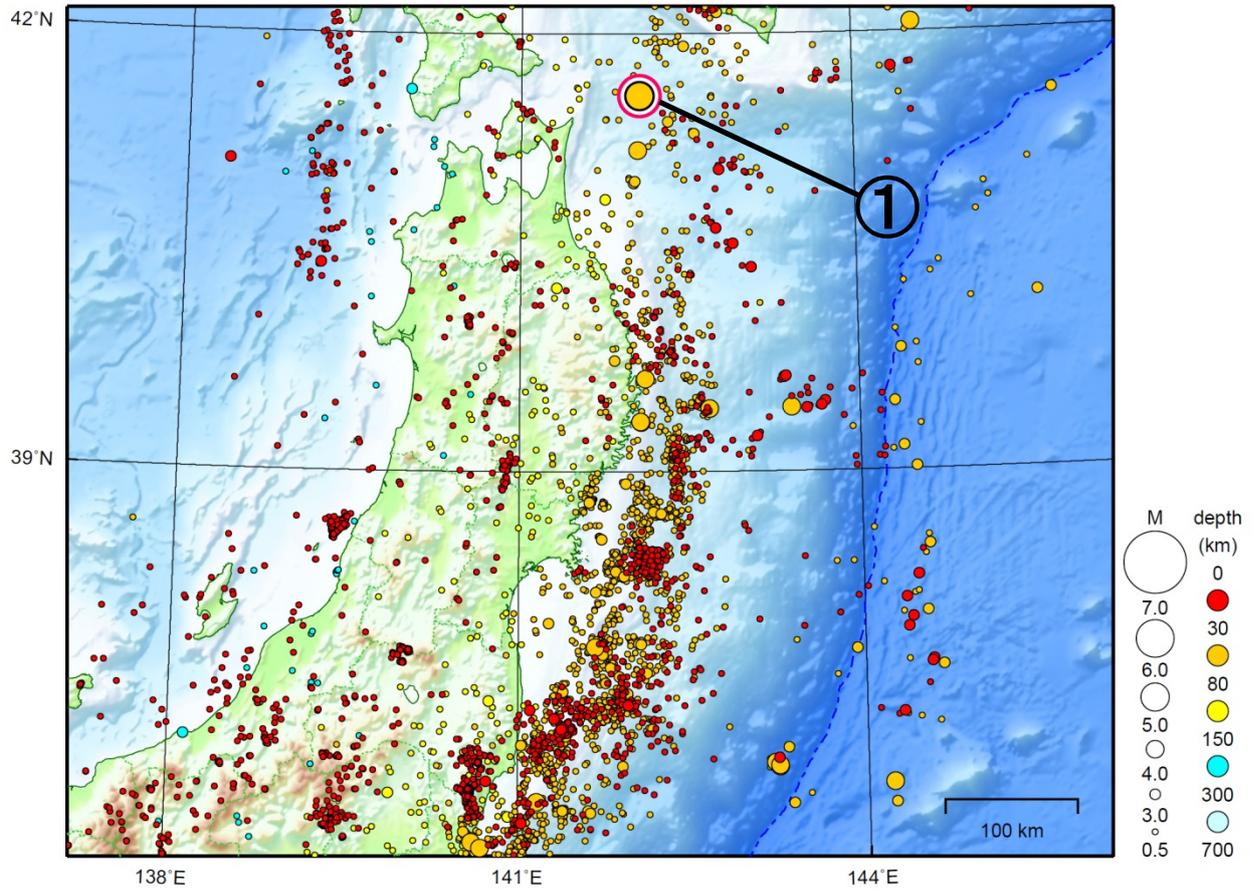


# 東北地方

2019/09/01 00:00 ~ 2019/09/30 24:00

N=3870



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 9月7日に青森県東方沖で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

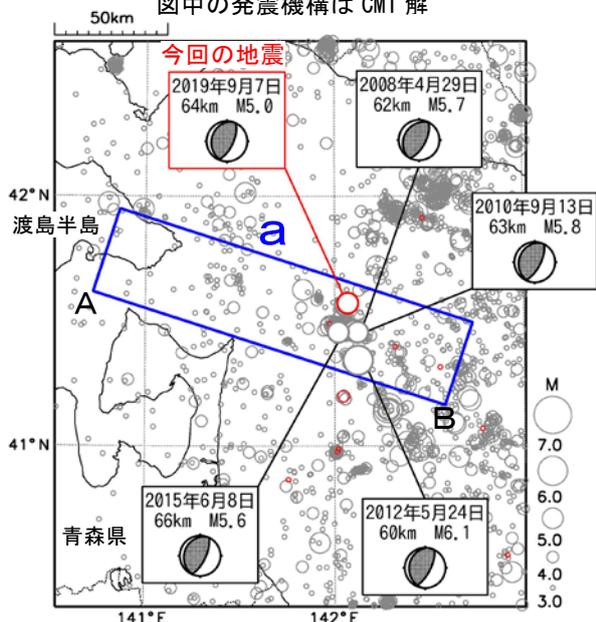
情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

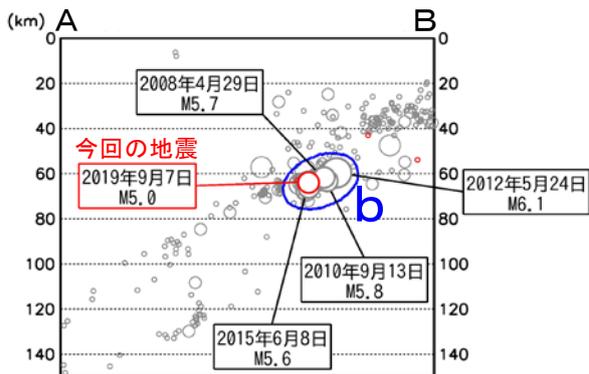
気象庁・文部科学省

# 9月7日 青森県東方沖の地震

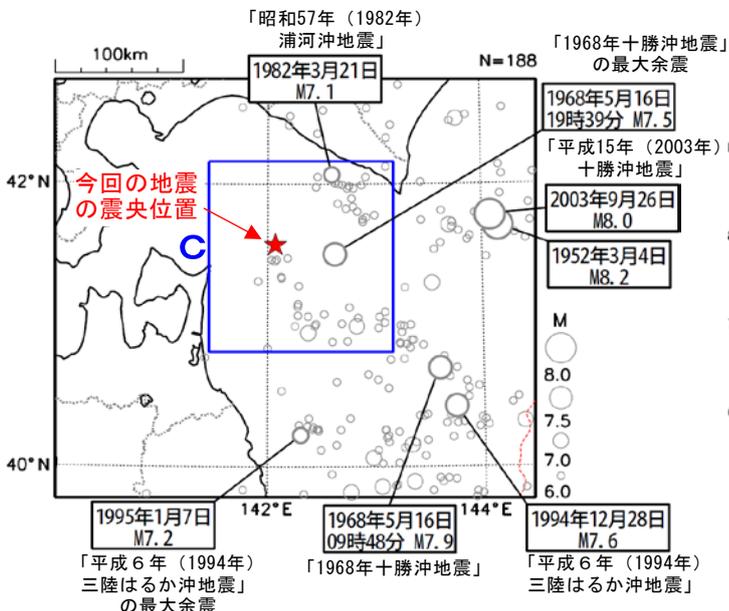
震央分布図  
 (1997年10月1日～2019年9月30日、  
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
 2019年9月の地震を○で表示  
 図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図  
 (1922年1月1日～2019年9月30日、  
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )



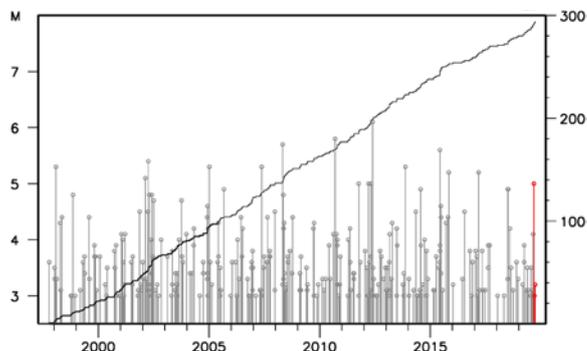
情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

2019年9月7日18時35分に青森県東方沖の深さ64kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2012年5月24日に発生したM6.1の地震(最大震度5強)では、非住家建物19カ所でガラス破損などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が4回発生している。このうち、1968年5月16日に発生したM7.5の地震は、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)の最大余震である。「1968年十勝沖地震」では、青森県八戸で238cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。また、領域c内では他に、「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)が発生している。

領域 b 内のM-T図及び回数積算図



領域 c 内のM-T図

